

タウト塾@熱海 2022

網代と 平井家住宅

国登録有形文化財

令和4年度
03



網代
網代の歴史
漁業の網代
5億円の館
国登録
有形文化財
外観の特徴
内観の特徴

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



国登録有形文化財



網 代

網代は、網を入れる場所の意 漁業のまちとして発展してきました。

江戸時代のはじめより漁業が盛んなまちであり、かつ大風の荒波から避難する港でもありました。そして昭和のはじめ温泉の湧出から温泉地として発展しました。



1793（寛政5年）の網代の図

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



2

国史館有朋文化財



江戸のはじめより賑わい発展してきた網代

江戸の時代、網代港は「京大阪に江戸網代」といわれる伊豆東海岸随一の天然の良港で、諸国の廻船のにぎわいが絶えなかった。

1600年代、江戸幕府となり、多くの物資が江戸を中心に行きかいされる様になり、九州・四国・大阪・堺・名古屋方面から「千石船」の大型帆船、中型の「廻船」、小型の「押送船」が網代港に入港した。

網代港は、江戸の海路の要衝として地の利を得た港でした。多くが滞在し、斡旋の口銭収入、シケに会った濡米の確保できました。港の商人、船宿も多く、網代港は江戸時代、活気にみちた港町でした。



千石船の大型帆船



中型の廻船



小型の押送船

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



3

国史館有朋文化財



明治、大正、昭和の網代

小型の押送船

明治になり定置網漁業が代表となり戸数も徐々に増え明治24年には408戸となり、その95%が漁業者で伊豆第一の漁獲量をつ誇っています。

大正時代、予算があまり漁業組合に交付し昭和へと……。当時の網元である「平井家」はその漁業を束ねる網元だった。

昭和元年から四年までは**税金のいない村**であった。裕福な村であった。

昭和12年 武井覺太郎が温泉を掘削。450m60度193 L / 分温泉地としての進展の始まり



宮崎から見た網代港（明治時代）



片町から見た網代港（大正時代）



網代港（昭和時代）

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



4

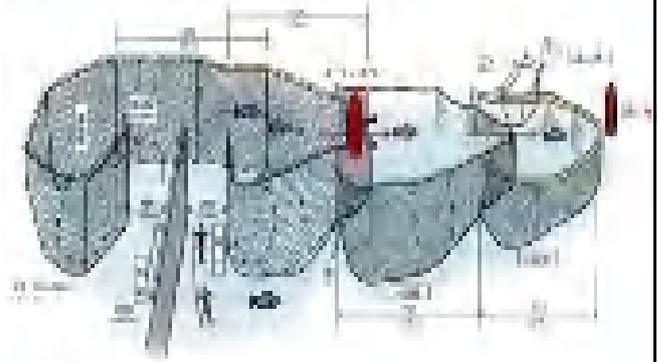


根拵網から大敷網に移行した平正

明治中期の網代には、海静社・江川社など、根拵網漁業の共同経営組織がいくつかあった。明治23年当時、海静社の代表的株主である3人の世話人の中に、平井正之助の名前を見つけることができる。「漁業法」の施行により、明治35年(1902)7月6日、新しく網代港漁業組合が発足し、組合長に**平井正之助**が就任している。

明治中期からの大型定置網の技術改良に伴い、ここ網代でも**根拵網から大敷網へと変更**された。

明治43年(1910)1月に行なった古銅春季根拵網漁業の経営に際して、平井正之助が初めて大敷網を試みたのであった。



関東大震災 大正12年9月1日

大正12年(1923)9月1日に発生した関東大地震

網代では、湾奥で24尺(7.2m)、湾口で10~15尺(3m~4.5m)の波高の大津波が東北から襲い、多くの被害をもたらした。

漁船は浜に打ち上げられ、家屋の損壊も相当だった。しかし平井家は、建物自体殆ど損壊がなく地震や津波にも大きな被害を免れた。



多量の被害 提供 国史館



網代の発展



図書館



元気な網代の漁業

提供 今井写真館



網代漁業の盛況 (昭和初期)



港 市場 漁



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



9



国登録有形文化財 平井家住宅



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座



10



平正 = 平井家の屋号

「日本の金持ち100人」に登場した平正

大正5年、網元である平井正之助は当時のお金で5万円（現在に換算すると5億円）の工事費をかけ、69坪のこの「平井家住宅」を完成させた。（平正は平井家の屋号）

平井正之助は、網代に大敷網を最初に取り入れるなど貢献した網元。大正時代創刊された雑誌キングの「日本の金持ち100人」のひとりに選ばれ人物。当時の網代の繁栄ぶりが伺える。



建立年代
大正5年(1916)6月8日上棟(棟札)



網代の名だたる網元の5億円の館



国登録有形文化財



国登録有形文化財 平成16年（2004）

大正5年に建設された平井家住宅は、平成16年（2004）母屋と脇門が国登録有形文化財に指定されました。



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座

13

国登録有形文化財



平井家主屋の概要 1

個人住宅であり他様々なことから、多く公開されないままになっており、現在内観できません。また公開されている写真（特に内観写真）、資料が少なく残念です。

今回は、静岡県伝統建築技術協会による調査報告書より資料、図面関係を抜粋させてもらい掲載しています。

施設概要

建物名称	平井家住宅主屋
構造	木造2階建、瓦葺
建築面積	128㎡
延床面積	227㎡/68.7坪（1階119㎡ 2階108㎡）
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
場所	静岡県熱海市網代106

主屋の概要

1.外観

- 木造、2階建、寄棟造、棧瓦葺、正面下屋付。
- 南東端に便所を突出、寄棟造、銅板葺。
- 1階正面（北）石及びタイル張り、東西両面石張り。下屋内法小壁から垂木まで銅板張り。
- 2階漆喰塗り壁、ただし北面壁及び窓部分は銅板張り、庇垂木も同様。



外壁は分厚い壁で造られ梁、垂木などは全て銅板で覆われている。防災の意識の高さがうかがわれる。

熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座

14

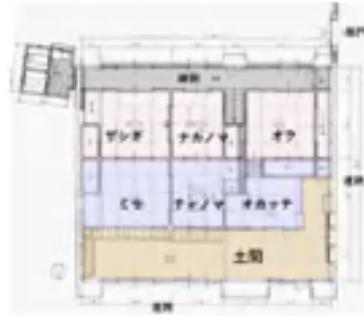
平井家主屋の概要 2

主屋の概要

2.平面構成

1階

北面前通りを土間とし、奥を六間取りの平面形式に造る。前列東よりミセ、「チャノマ」「オカッテ」の3室を配する。その背面に、やはり東より「ザシキ」「ナカノマ」「オク」の3室を備え、南側桁行一杯に半間の廊下を通し、南東端に便所を設ける。



2階

南北2列の六間取りの平面形式を基本とするが、南側中央間に階段室を設ける。南東端の10畳を「ショイン」として、床の間・違い棚・付書院の座敷飾りをしつらえる。1階と同様、背面を廊下とする。



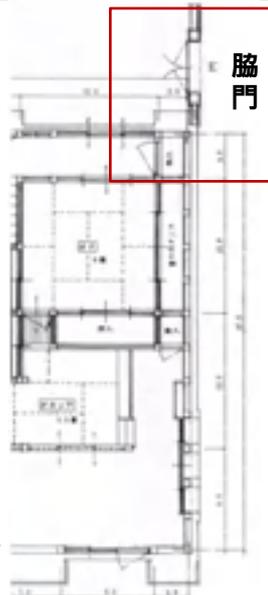
脇門の概要

脇門の概要

建物名称	平井家住宅脇門
種別	住宅 その他工作
構造	間口1.8m石造
年代	大正8年(1919)
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
場所	静岡県熱海市網代106

主屋東妻面の通りと裏庭を仕切る脇門。

間口約1間、石造で、門口に方立を立て、高いまぐさを架けて両開板戸を吊り込む。まぐさには眉を欠き、石はやや丸みを付けた丁寧な仕上げで、主屋腰部と同じ黒味勝ちの安山岩を用い一体の意匠に整える。



脇門





主屋外観の特徴

外観の特徴

道路側外部は、腰部の伊豆石積みやタイル張りの戸袋などを見せ、

2階は漆喰塗り壁として開口細に銅板張りの両開き建具を採用。

また、軒廻りの垂木に至るまで銅板張りとしており、全体的に耐火性を考慮した土蔵造りの様相を呈している。

しかし外観とは異なり、内部は一変して富裕階層の住宅であることが各部から認識できる。



主屋内観の特徴

1階

土間廻りはケヤキ(欒)が多用されており、入室した瞬間に豪華な雰囲気を感じ取ることができる。

床上の各室では、柱や鴨居・長押はツガ(桐)で揃え、床柱にカリン(花梨)、床権には南方産のタガヤサン(鉄刀木)などの銘木を取り合わせる。

2階

ではおとなしく素性の良い七ノキ(桧)材で纏められているが、やはり床廻りには銘木を用いる。床柱にタガヤサン、床権はコクタン(黒檀)、床脇違い棚はクロカキ(黒柿)、地板はカン(樫)、さらに付書院の卓板にはカリン(花梨)を合わせ。床・棚・書院という伝統的な座敷の構成をよく守っている。





主屋内観 「ミセ」



I階 土間よりミセをみる



主屋内観 「チャノマ」前土間



I階 土間よりチャノマをみる





障子、欄間、組子

障子や欄間などにも見るべきものが多く、様々な意匠を凝らした組子や透かし彫りの模様も評価される。

特に2階の床の間や付書院廻りでは、手の込んだ組子が嵌め込まれ、見事である。

以上のように、使用されている木材は多様でいずれも良質であり、さらに各部における意匠にも職人技が満ち溢れており、網元の本宅に相応しい様相を呈している。



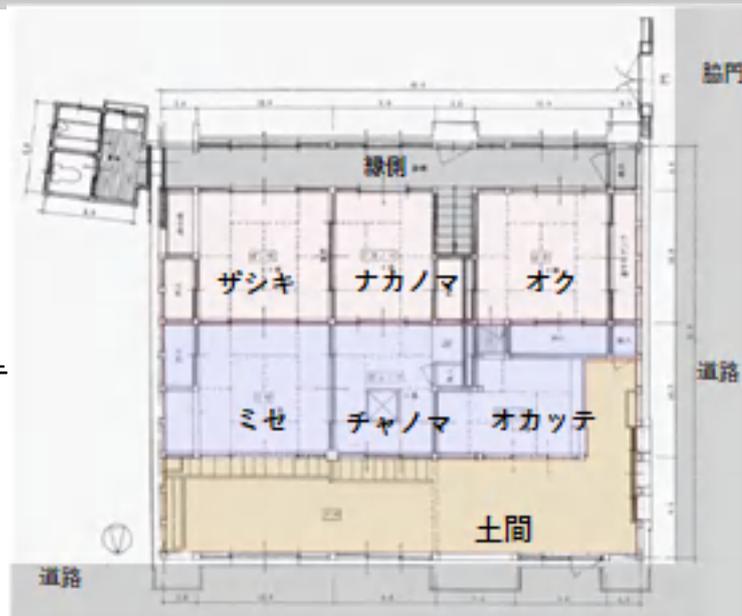
1階平面図

1階床面積	全・部	112.37㎡ (34.8坪)
	暖房・畳部	46.61㎡ (14.0坪)
		118.98㎡ (36.8坪)
2階床面積	全・部	107.97㎡ (32.6坪)
延べ床面積		226.95㎡ (69.4坪)

北道路側より

- 土間
- ミセ・チャノマ・オカッテ
- ザシキ・ナカノマ・オク
- 縁側 (2階へ)

の構成がみられる



国登録有形文化財



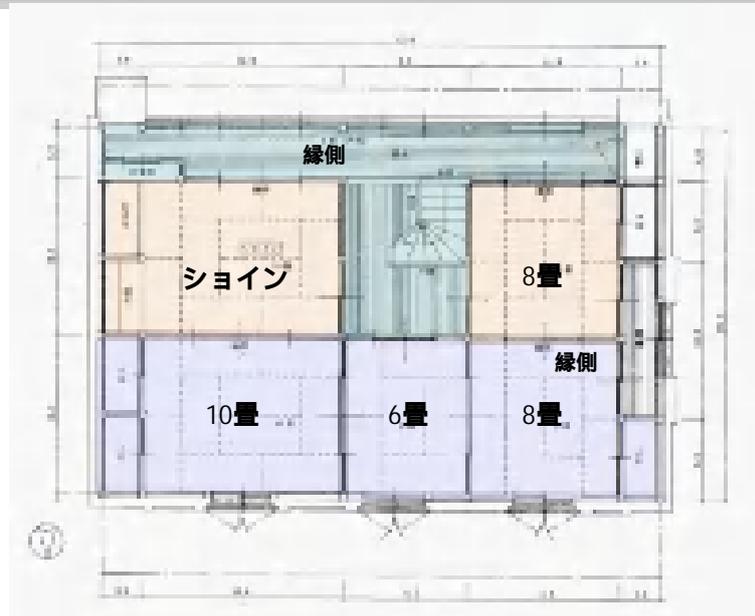
2階平面図

1階床面積	主 屋	442.37㎡ (34.98坪)
	使用・警備	4.81㎡ (2.98坪)
	計	447.18㎡ (34.98坪)
2階床面積	主 屋	187.97㎡ (14.42坪)
延べ床面積		226.95㎡ (16.82坪)

北道路側より

- 10畳、6畳、8畳
- ショイン、8畳
- 縁側 (1階へ)

の構成がみられる



熱海ブルーノ・タウト連盟

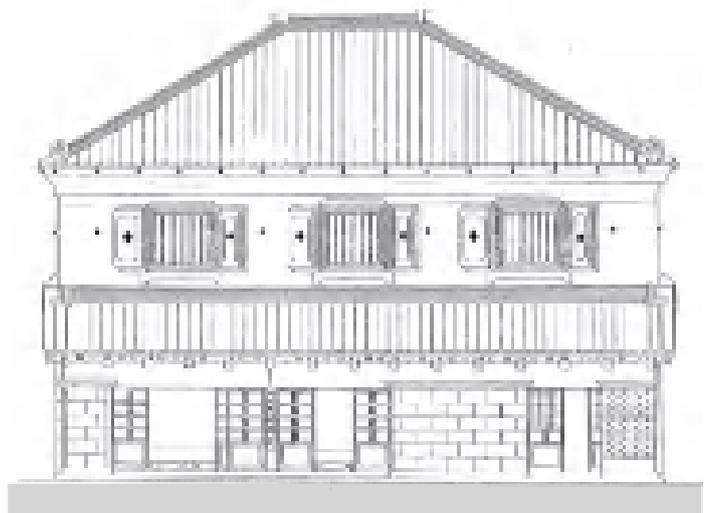
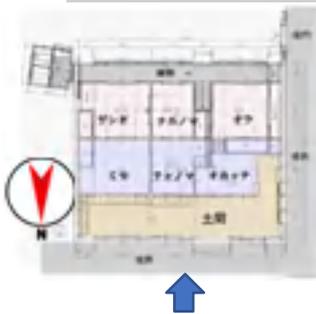
タウト塾@熱海 2022 オンライン講座

23

国登録有形文化財



正面図 (北側)



熱海ブルーノ・タウト連盟

タウト塾@熱海 2022 オンライン講座

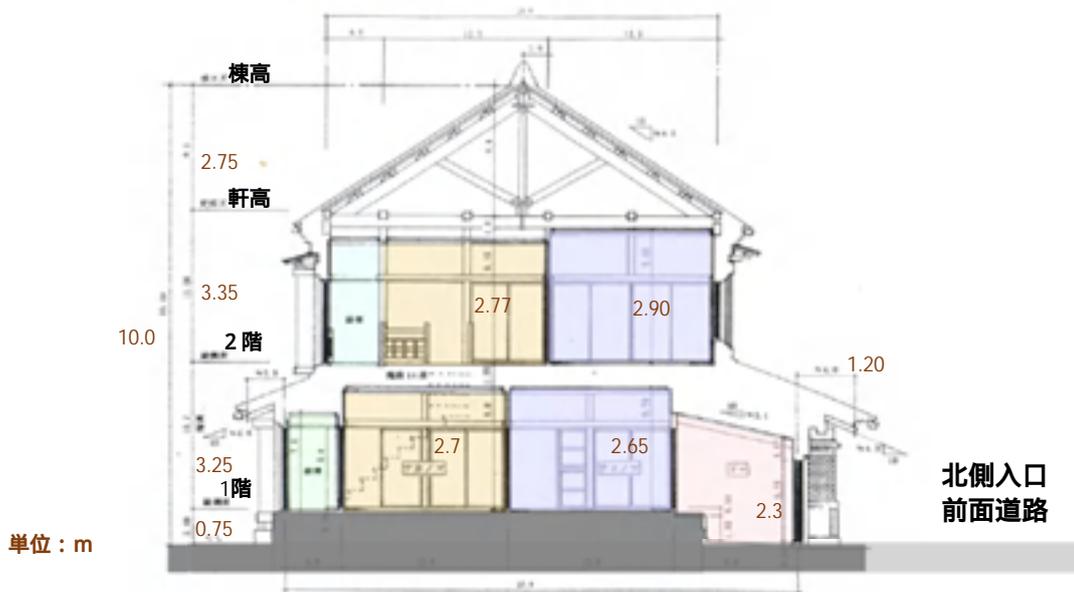
24



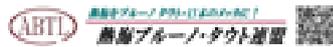
側面図（西側）



断面図



ご清聴ありがとうございました。



資料提供：平井家住宅調査報告書
NPO法人 静岡県伝統建築技術協会

タウト塾@熱海
2022

網代と
平井家住宅
国登録有形文化財

令和4年度
03



- 網代
- 網代の歴史
- 漁業の網代
- 5億円の館
- 国登録
有形文化財
- 外観の特徴
- 内観の特徴